

## 編集後記

5年前から藍野学院紀要の編集委員長になり、紀要の充実に力を入れてきた。その結果、本学院の紀要は、年々歳々よくなってきている。まず、毎年の投稿論文の数は10編余りであったが、今年は22編と倍増した。22編のうち、英文が12編となったので、これをまとめて英文の専門雑誌 AINO JOURNAL として発行することとなり、従来の藍野学院紀要を日本文の専門雑誌に特化することにした。なお、英文論文1編が、英国の国際看護雑誌 British Journal of Midwifery 11巻1号、2003に掲載されたことは、喜ばしいことである。

それにつけても、紀要の編集顧問で、かつ元国際雑誌の編集委員長であった増田芳雄客員教授の指導は並々ならぬものがある。投稿論文が学術論文として批判に耐えられるようにする為、それぞれの論文について毎年10回ぐらい訂正を命じて指導を行い、その後英文として発表するように指導して頂いた。特に英文論文の指導については、ネイティブスピーカーで、その道の権威である野口ジュディさんには一方ならぬご指導をお願いし、完全な英文論文を発表することができた。併せて感謝申し上げる。

査読に関しても、毎年複数の査読者、ことに多くの名誉教授の先生方をお願いし多大の有益なご意見を頂き、立派な論文にするよう協力して頂いたことに感謝している。

最後に論文の表現の問題から、句読点に至るまで細部に亘って並々ならぬご指導を頂いた、野村公寿副学長に心から感謝申し上げたい。

来年は、さらに論文の内容を含めて世間の批判に十分に耐えられるような、より良い紀要を作りたいと考えている。多くの優れた論文の投稿を期待して止まない。

(編集委員長：堺 俊明)

### 藍野学院紀要 第16巻

平成15年3月15日

編集兼発行者 学校法人 藍野学院  
〒567-0012  
大阪府茨木市東太田4-5-4  
電話 (072) 627-1711 (代)

印刷 明文舎印刷株式会社  
〒601-8316  
京都市南区吉祥院池ノ内町10  
電話 (075) 681-2741